

オープン・ソース・プロジェクトに最適なソーシャル・ネットワークの活用 github入門 —そのコード githubで公開しませんか？

鈴木 圭介 Keisuke Suzuki

ここではgitと呼ばれるバージョン管理システムを使ったソーシャル・ネットワーク・サービスgithubについて説明します。githubではさまざまなコードが共有されており、コードでお互いがつながり合う場となっています。ここでは特にプライベートなプロジェクトを公開してみたいという読者を対象に、アカウント作成からコード公開、git使用方法、ライセンスの考え方などについて解説していきます。

● プルリクエストは突然に…

カリフォルニア現地時間、午前8時頃、Lauszusという人物からgmailにプルリクエストのメールが入った。こちらの時間は深夜1時だ。ボクは眠い目をこすりながらブラウザに目をやった。プルリクエストのタイトルは「Automatically disable all debug when doing a release」。どうやらリリース時にデバッグ・モードを切る方法をソース・コードに仕込んでくれたようだ。ボクはすぐさまWebサイトへ飛び、そこに映し出された彼のログとソース・コードのdiff(差分)をチェックする。よし、特に問題なさそうだ。ボクはmergeボタンを押して彼のプルリクエストを受け入れた。プルリクエストのコメント・ツリーに「Thanks. It's a good idea.」と残し再び作業に戻った。

● ソース・コードを公開しようと思った理由

2011年11月、ボクは自分のソース・コードをBlogで公開したいと思った。最初の動機はとても些細なことだった。ボクは数日前に新大阪で開かれたAlteraのセミナーを受講していた。そこで実演していた新しい機能を家に帰ってやってみたところ実際に動かすことができた。内容はJTAG経由でユーザ・ロジック内のAvalonバス空間へアクセスするという方法で、当時は(今も?)画期的な方法だった。このQuartus IIプロジェクトを他の人と共有したいと思った。ボクはソース・コード共有サイトを調べて、

githubというサイトを見つけた。他にもgitホスティング・サービスはあったが、ソーシャル・ネットワーク色の濃かったgithubを選んだ。しかし正直なことを言うとgithubを選んだ一番の理由はgithubのキャラクターであるoctocat(図1)が可愛いからだっ

● オープン・ソースのソーシャル・ネットワーク化

世界中の人たちとソース・コードを共有し、ソース・コードをより良いものに育てていこうという動きがあります。いわゆるオープン・ソースといわれている活動です。これまで数多くのオープン・ソース・プロジェクトが成功を収めてきました。RubyやLinux、Apache、Androidなどがそれに当たるでしょう。どれも素晴らしいプロジェクトです。私たちは無料でこの恩恵を享受できています。さらに最近になってオープン・ソースの世界にもっと良い変化が現れてきました。オープン・ソースのソーシャル・ネットワーク化です。

オープン・ソースというと先に挙げた大規模なプロジェクトばかり目立っていました。しかし、よりパーソナルな開発が活発となってきています。これまでオープン・ソースといえば、誰かのソースを無料で使うという意味合いが強かったのですが、誰かのソースを自分が変える、もしくは自分のソースを世界の誰かのために公開する、ということがカンタンにそしてカジュアルにできるようになってきています。

● バージョン管理+ソーシャル・ネット=github

その中心となっているのがgithub(<https://github.com/>)です。githubは、gitと呼ばれるソース・コード・バージョン管理システムをベースとしています。git自体は単なるバージョン管理システムですが、githubではソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)の要素をプラスしています。githubは、コードに興味を持った人たちが寄り集まり、コードについて議論し、コードをより良いものにするための場となっています。githubにはバージョン管理システ



図1 githubのキャラクタ「octocat」